

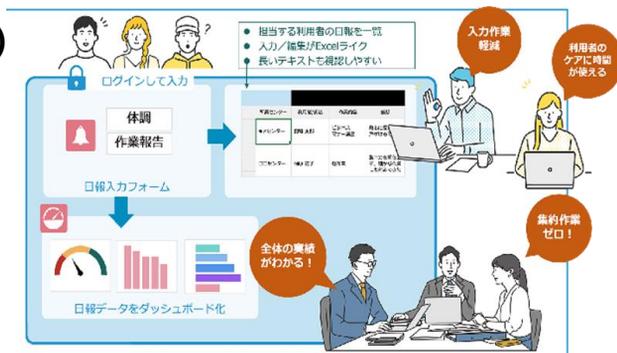
セルドシステムを用いた障害者就労移行支援事業の業務フロー統一と人材育成の効率化

株式会社チャレンジドジャパン (宮城県仙台市)

医療・福祉業 資本金1,500万円 従業員数180名

会社概要

2008年設立。「すべての人が役割を持ち、認め合える社会」の実現を目指し、就労移行支援や就労定着支援、障がい者雇用コンサルティングを行う。



Saleceforce (事業・生産性管理ソフト) + Raykit (Saleceforce用カスタムアプリ) を組み合わせた内製システム構築により、入力作業の軽減及び集約作業の効率化に成功!

スタッフ1人当たりの作業工数削減による効果は会社全体で約6450時間

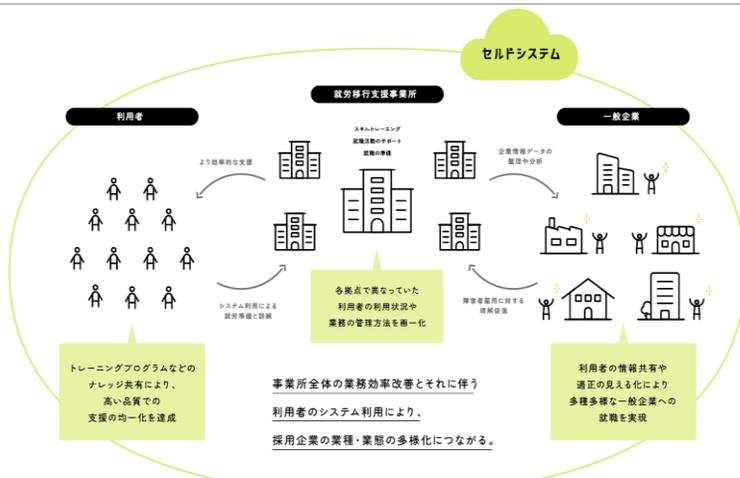
取組の背景は?

障害者福祉業界では、かねてより障害をもった利用者はその支援方法がそれぞれ違うことを背景に、業務管理方法や利用状況の管理等を統一的に一括して管理する意識が支援者側には低く、各拠点ごとでの部分最適化を図りながら運営を行なっていくことがほとんどだった。Googleスプレッドシートで共有できる環境はあったが、拠点ごとにファイルも分かれ、管理項目も統一されておらず、職員側にも利用者側にも何を入力しなければいけないか等基準が不在の中業務が進んでおり、それらの環境がまた拠点ごとの個別の部分最適化を加速させていた。

そこで将来的な拠点数や事業規模の拡大、職員や利用者の作業効率の向上、顧客情報の管理等の営業的な観点からも生産性の向上に定評のあるSalesforceの技術を用いて、**統一した業務基盤の整備に着手した。**

具体的な取組内容は?

障害者の就労を目指す就労移行支援事業所を全国に26カ所約400名以上の利用者、200名以上の従業員が所属する中で、各事業拠点ごとバラバラだった業務フローを生産管理ソフトであるSaleceforceと、同ソフトの利便性を上げるカスタムアプリであるRaykitを組み合わせた管理システム「セルドシステム」を導入。
全国の事業所の業務フロー統一化に成功した。



効果は?

- セルドシステムによりスタッフの入力や編集作業の時間を**約6450時間/年削減**
- データの集約作業の効率化により法人全体として**管理職の作業時間を年間約720時間/年削減**
- セルドシステム独自の並べ替えやソート機能の活用により瞬時に必要な管理情報を得ることが可能に。これらシステムは障害を持った方と共通で使用できるシステムとして機能しており、多様な人材の一般企業へ向けた就労準備と訓練に大きな役割を果たしている。